

| 羅 針 盤 | | | 方 策 | 点検・評価 | | 達成度 総合 | 達成状況のまとめ及び次年度の課題 | 学校関係者評価 |
|--------------------------------|--|--|--|----------|------------------|-----------|---|---|
| 評価対象 | 評価項目 | 具体的数値項目 | | 自己 評価 | 外部 アンケート 等 | | | |
| Ⅰ 特色ある学校づくりに努めていますか。 | 1 特色ある教育活動を行っていますか。 | ①単位制高校としての、本校のシステムに満足している生徒が80%以上である。 | ①生徒の実態やニーズに応じた選択科目を用意するなど、魅力ある教育課程や学校行事の検討・工夫・改善を行う。 | A | A | A | ①満足と回答した生徒は91%であった。保護者アンケートでも92%が満足していると回答した。今後も単位制高校としての特色を活かし、きめ細かい指導を充実させる。 ②学校行事に主体的に参加していると回答した生徒は、70%と昨年と同様であったが、行事に満足との回答は72%で減少した。生徒の求めるものを理解するとともに、積極的な参加を促すような行事の設定と運営をしたい。 ③73%の生徒が「夜間の時間が合っている」、43%が「授業が選べる」、など学校の好きなどところをあげた。本校のシステムを活かしたきめ細かい教育を継続していく。 ④約70%の生徒が中学校時不登校経験者であったが、講座履修率では95%となり本校での改善傾向は多く見られる。今後も生徒に寄り添い個別に支援していきたい。 ⑤校内研修推進委員などが中心となり、授業改善に係わる研修会を年5回実施した。本校の現状と課題に応じた研修を行い、研鑽に努めたい。 | A: 単位制高校夜間部としての存在価値を生徒が享受できていることは素晴らしいと思います。生徒のニーズをより先取りした学校行事のご検討をお願いします。 A: 学校行事に参加を促すような行事の設定と学校のシステムを活かしたきめ細かい教育が継続されている。 A: 中学校時代に不登校気味であった生徒が清陵高校夜間部で学校生活を取り戻している実情、まさに先生方の寄り添い姿勢の成果でとても素晴らしいと思います。 A: 学校の現状と課題に応じた研修をさらにお願いします。 |
| | | ②生活体験発表大会や学校説明会等の特色ある学校行事に主体的に参加している生徒が70%以上である。 | ②生徒会役員と協力しながら、生徒にとって学校行事が主体的に運営・参加できるような機会となるように工夫する。 | B | B | B | | |
| | | ③自分の学校が好きだと感じている生徒の割合は80%以上である。 | ③生徒の安心・安全を第一に、生徒にとって居心地のよい環境づくりに努める。 | B | B | B | | |
| | 2 個々の生徒の実情に応じた指導を行っていますか。 | ④中学時代に不登校や特別な支援が必要だった生徒の回復状況が80%以上である。 | ④複数の職員による日常的な教育相談や特別支援教育をとおして適切な対応をとるとともに、家庭との連携を深めながら回復途上の生徒を支援する。 | A | A | A | | |
| | | ⑤生徒理解や指導充実のために、職員の研修会を年3回以上行っている。 | ⑤校内研修推進委員が中心となり、研修会を企画する。 | A | A | A | | |
| | | ⑥授業において、学習内容を理解している生徒が70%以上である。 | ⑥職員研修の機会等を有効に活用し、授業改善を学校全体で進め、生徒の実態を踏まえた上で、理解度が深まる工夫を進める。 | A | A | A | | |
| Ⅱ 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。 | 3 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。 | ⑦授業アンケートの中で授業に意欲的に取り組んでいると回答している生徒が80%以上である。 | ⑦生徒が授業に意欲的に取り組み、積極的に参加できるような学習環境の整備ならびに教材開発に努める。 | B | A | A | ⑥3科目以上で学習内容を理解していると回答した生徒は73%であった。前回は77%で、やや下がった。今後ますます多様化していく教育ニーズに対応するため、授業改善により一層励み、基礎的な学力の定着を図り、自立への援助を目指したい。 ⑦授業に意欲的に取り組んでいると回答した生徒は81%であった。前回は83%で、やや下がった。生徒の学習意欲を高められるよう教材研究に励み、魅力ある授業づくりに努めたい。 ⑧授業に出席しようと努力していると回答した生徒は68%であった。前回は69%で、やや下がった。目標到達まではまだまだ課題が多い。日々成長し、変容していく生徒に対応すべく、校内外での研修等を活用し、生徒が安心して学習できるよう努めたい。 | A: 多様化する教育ニーズの対応のための授業改善努力により、生徒の基礎学力定着を図るとともに、自立支援の拡充をお願いします。 A: 基礎的な学力の向上と自立へ援助がなされていると思います。 A: 授業が楽しい面白いということがより学習意欲や出席意欲を高めることにつながるのだから、引き続きの寄り添い等ご尽力を期待します。 B: 生徒が色々な学習ができるように校内外の研修等をさらに増やして学習させて頂ければと思います。 |
| | | ⑧授業アンケートの中で授業に出席しようと努力していると回答している生徒が80%以上である。 | ⑧生徒の居場所としての授業を目指し、生徒が安心して学習に取り組むことができるよう適切な支援を行う。 | B | B | B | | |
| | 4 生徒の学習意欲を高める指導を行っていますか。 | ⑨職員会議や各係会議等において、生徒の情報交換を月2回以上行っている。 | ⑨日ごろから生徒の様子を観察し、共有できる最新の情報収集・整理する。 | A | A | A | | |
| | | ⑩巡回・声かけ等の指導を毎日行っている。 | ⑩指導計画を立て、全職員により実施する。 | A | A | A | | |
| Ⅲ 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。 | 5 組織的・継続的な指導を行っていますか。 | ⑪部活動を活性化し、意欲的に活動している生徒が70%以上である。 | ⑪部活動へ参加する生徒を増やし、継続的に指導していく。 | B | B | B | A: 働きながら学ぶ生徒が増えている現状の中でも、部活動に参加できるような構造的な仕組みは考えられないでしょうか? B: 巡回、声掛け等の継続と部活動の推進に努めてもらいたい。 A: イジメの根絶に向けて、心の教育・共感力を高めるためのワークショップなど、大段に振りかぶらないプログラムをカリキュラムに組み込ませるか? A: いじめの早期発見は、2者面談・3者面談が有効なので、回数を決めずに実施して頂きたいです。 A: 校則遵守をしようとする生徒が95%、また出席率86%は素晴らしい割合です。保健室との連携で健康管理や基本的な生活習慣の確立の呼びかけをお願いします。 A: 今後も家庭と連絡を密にして、生徒の心が学校に向く指導をお願いします。 | |
| | | ⑫いじめの未然防止に努め、アンケート等を年3回以上実施する。 | ⑫アンケートを実施し、未然防止に努めるとともにその結果に応じた対応を、係を中心にして組織的に行う。 | A | A | A | | |
| | | ⑬いじめ防止基本方針を踏まえた対応に関する校内研修等を年2回以上行う。 | ⑬校内研修等を行うことにより教職員の意識や知見を向上させる。 | A | A | A | | |
| | 6 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に行っていますか。 | ⑭校則を守ることを心がけている生徒が80%以上である。 | ⑭集会、授業、HR等あらゆる機会をとおして声をかけ、働きかける。 | A | A | A | | |
| | | ⑮健康で規則正しい生活を心がけている生徒が70%以上である。 | ⑮日ごろから生徒の生活状況を観察し、必要に応じて面談等を行う。 | A | A | A | | |
| | 7 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。 | ⑯家庭との連携を図り、日々の出席率が75%以上である。 | ⑯家庭との連絡を密にして、生徒の気持ちが学校に向くよう支援する。 | A | A | A | | |
| | | ⑰キャリア教育・進路行事の系統性を高め全校行事、各学年行事を計画し有益だと感じている生徒が70%以上である。 | ⑰外部機関等と協力して、進路について考える機会を与え、進路選択の幅を広げられるように指導する。 | A | A | A | | |
| Ⅳ 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。 | 8 計画的な指導を行っていますか。 | ⑱進路実現に向け積極的に取り組んでいる生徒が60%以上である。 | ⑱あらゆる機会を通して進路について考えさせ、その実現を支援する。 | B | A | A | ⑰大いに役に立った・役に立ったは69.6%であり、進路を意識して授業を選択している生徒は54.6%である。 ⑱3/パート合同の企業見学会や上級学校見学会を実施した。学年別にテーマを設定し、全学年を通しての進路ガイダンスを1回、来年度在籍生を対象にした進路ガイダンスを1回実施した。卒業学年は外部機関を招いての面接指導学年団での面接指導を実施。1・2年次は外部講師を招いての進路学習を実施した。 ⑲卒業予定者39名の進路状況は以下のとおりである。(大学2.6%、専門38.5%、就職35.9%、その他2.6%、就職進学努力継続20.5%) 高卒の資格取得が目的の生徒は41.4%である。 ⑳三者面談や保護者面談で得られた進路希望などの情報は、教員間での共有が図られている。三者面談や保護者面談に参加したいが79%である。参加しない理由は仕事や家事が忙しいことが多い。 | A: 進路を意識して授業を選択する生徒の割合が54.6%というのは、低いように感じます。卒業後の進路を考えて授業を選択するようにはできませんか? A: 大いに役に立っていると思います。さらに進路選択の幅を広げられるように指導して頂ければと思います。 A: 進路については入学直後から定期的に自ら考えられるプラットフォームを用意し、世間に広がる選択肢の存在を伝えていくような機会が必要ではないですか? A: あらゆる機会を通して支援をお願いします。 |
| | | ⑳進路希望未定者30%未満である。 | ⑳二者面談、三者面談等を通して、情報の共有を職員全体で図る。 | A | A | A | | |
| | 9 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。 | ㉑学校の教育活動を理解してもらうために学校公開を年2回実施している。 | ㉑公開授業、学校説明会等を実施し、保護者の参加を促す。 | A | B | A | | |
| | | ㉒生徒指導部だより、保健だより、学年だより、図書館だより等を年に合計70回以上発行している。 | ㉒学校Webページを積極的に活用し、日常生活やこれから自己実現を果たす上で参考となるような情報を発信する。 | A | A | A | | |
| Ⅴ 開かれた学校づくりに努めていますか。 | 10 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。 | ㉓学校評価の結果を年1回公開している。 | ㉓学校Webページを利用して学校評価の結果を保護者に公開し、情報の共有を図る。 | A | A | A | ㉑学校説明会や学校見学会を行うことができたが、6月の3者面談と1・2月の保護者面談期間に合わせた公開授業の周知が徹底されていなかったのでも来年度に向けて改善が必要とされる。 ㉒生徒指導部だより9回、保健だより7回、学年通信22回、カウンセラーだより5回、図書館だより10回、学校Webページでの行事報告17回、計70回情報発信でき、具体的数値目標を達成することができた。来年度も有用な情報発信を継続していく。 ㉓学校Webページに公開することで、情報の共有を図ることができた。 ㉔令和4年度に学校Webページをリニューアルしてから278万件以上のアクセス数となっている。この1年では約93万件のアクセス数であり前年度より増加している。更新回数や内容の充実を更に進めていきたい。 | A: 保護者への配慮ある伝わりやすい広報を工夫してください。また、新聞等のパブリシティ活用やHP、Instagramなどで積極的に露出度を高めてください。 B: きめ細かい情報の発信と更新をお願いします。 |
| | | ㉔本校Webページへのアクセス数が年間30万件以上である。 | ㉔できるだけこまめに情報の更新を行い、コンテンツを魅力のあるものにする。 | A | A | A | | |
| | | ㉕ICT活用に関する校内研修を年1回以上行う。 | ㉕校内研修を行うことにより、教職員のICT活用に対する意識を向上させる。 | A | A | A | | |
| | | ㉖授業におけるICT活用に満足していると回答している生徒が70%以上である。 | ㉖生徒用PCやプロジェクターなどを活用しやすい学習環境の整備ならびに教材開発に努める。 | A | A | A | | |
| | | ㉗校務のデジタル化についての研修を年1回以上行う。 | ㉗日々の校務を行う中でデジタル化の取組に関する情報交換を含めた研修を行うとともに、新たに導入されるシステムに備えた対応をすることにより校務のスリム化を図る。 | A | A | A | | |
| Ⅵ 教育デジタル化に努めていますか。 | 11 ICTを活用した指導を行っていますか。 | ㉘ICT活用に関する校内研修を年1回以上行う。 | ㉘校内研修を行うことにより、教職員のICT活用に対する意識を向上させる。 | A | A | A | A: 教員間によるICT活用実態の高低差はありませんか?ICT研修が年に1回では不足なくありませんか? A: ICT活用はなされていると思います。 A: 校務のデジタル化の推進と併せ、引き続き清陵高校の持ち味である直接対話によるアナログ的なご尽力のマッチングを期待しています。 A: さらに、ICT活用を増やしてみたいと思います。 | |
| | | ㉙授業におけるICT活用に満足していると回答している生徒が70%以上である。 | ㉙生徒用PCやプロジェクターなどを活用しやすい学習環境の整備ならびに教材開発に努める。 | A | A | A | | |
| 12 ICTを活用した業務改善を行っていますか。 | 12 ICTを活用した業務改善を行っていますか。 | ㉚校務のデジタル化についての研修を年1回以上行う。 | ㉚日々の校務を行う中でデジタル化の取組に関する情報交換を含めた研修を行うとともに、新たに導入されるシステムに備えた対応をすることにより校務のスリム化を図る。 | A | A | A | | |
| | | ㉚校務のデジタル化についての研修を年1回以上行う。 | ㉚日々の校務を行う中でデジタル化の取組に関する情報交換を含めた研修を行うとともに、新たに導入されるシステムに備えた対応をすることにより校務のスリム化を図る。 | A | A | A | | |